

第15回小田原市市民活動推進委員会 会議録

- 1 日 時：平成27年5月14日（木） 午後1時～2時30分
- 2 場 所：小田原市役所 602会議室
- 3 出席者：前田委員長、神馬副委員長、島村委員、田代委員、久積委員、毛利委員、瀬戸委員、片野委員、山崎委員
事務局：市川課長、府川副課長、村田係長、小澤主査、木村主事
- 4 欠席者：石川委員
- 5 資 料： ・次第
・資料1 市民提案型協働事業・市民活動応援補助金報告会実施要領
・第6期委員会報告書（案）

■ 開会

委員長：ただいまから、第15回小田原市市民活動推進委員会を開会する。
本委員会の会議は、原則公開となっているのでご承知おきいただきたい。傍聴の方においては、傍聴者の遵守事項をお守りいただきたい。
議事に入る前に、事務局から配布資料の確認をお願いする。
（事務局 配布資料の確認及び本日の流れの説明）

■ 議題1 第6期委員会報告書について

委員長：それでは議事に入る。議題1「第6期委員会報告書について」、事務局より説明をお願いします。

（事務局説明）

委員長：諮問事項については、既に報告している内容になるため、テーマ1「行政提案型協働事業のあり方について」から議論したい。テーマ1について、何か意見や質問はあるか。

委員：今まで行ってきた行政提案型協働事業の内容の紹介を、資料等で報告書に載せることは可能か。

事務局：報告書の資料編にご指摘の内容を記載することは、本日の委員会でご議論いただき、載せるという結論をいただければ問題無いが、市民活動応援補助金の交付件数を記載しているの、補助金交付事業も記載するか併せてご議論いただきたい。

委員長：市民提案型協働事業についても併せて考える必要があるが、今回審議したものは、行政提案型協働事業であるため、資料編にこだわらず、本文中に行政提案型協働事業のみ掲載する形で良いのではないか。そうすることで、市民活動応援補助金と市民提案型協働事業を掲載しないこととの整合性も図れると思う。

その際にどこかに項目を立てる必要があるが、本文を見てみると「1. 制度変更の背景」に今まで実施した事業の件数が記載されているため、この項目に追加する形が良いのではないか。

委員：具体的に事業名等を記載した方が分かりやすいと思う。

委員長：今回、本件をテーマにした理由も表にすることでより分かりやすくなると感じる。

特段ご意見が無ければそのようにしたいがいかがか。

⇒委員了承

委員長：他にご意見が無いようなので、テーマ2「市民活動における活動資金のあり方について」について議論したい。本テーマは、検討時間も少なく、タイトルに記載されているとおり、本報告書においては、「中間報告」とするのが妥当であると考えている。後に記載もあるとおり、諮問事項の検討などに時間を割いたことから十分な議論ができなかったため、次期の委員会に委ねる部分も出てくる。アンケート実施と議論した内容の要点が記載されているが、何か意見や質問があればお願いしたい。

委員：今回取りまとめた内容を、アンケートを実施した団体にお伝えするか。

事務局：アンケート実施の際に、その結果の使い方については、委員会でご指摘いただいたことを踏まえ、団体に周知しているが、今回取りまとめた内容を団体にお知らせする予定は無い。

なお、アンケート結果は委員会資料になっているため、既に公開資料となっており、本報告書も市長にご提出いただいた後、ホームページ等で公開されていくものとなる。

- 委員 長：アンケート結果が多岐に渡っていたため、もう少し詳しく掲載しても良いとも思ったが、今回は中間報告なのでこの程度で問題無いと考える。今回実施したアンケートのより詳しい分析を第7期で一括して行っても良いのではないか。また、足りない部分を補うためのアンケートを実施することも考えられる。
- 委員：自分も使う側なので、何とも言えないが、本テーマの最後に「無料で使いやすい活動場所の提供」という文面がある。「無料」と言っても実際は誰かが費用を負担しているので、市民活動をする団体においても、税金等で運営されているからこそ、無料で使えるということを意識付け出来たら良いと感じた。
また、委員会として、「無料で使いやすい活動場所の提供を行っていただきたい」と言っても良いのか気になってしまった。このような意識について、どのように市民活動団体と共有するかは課題だと思う。
- 委員 長：ここでは、「特に活動を始めたばかりの団体」と限定している。その都度、使用料を支払わないものが無料であるが、確かに委員の言われるとおりお金はかかっている。
- 委員：行政側と市民活動団体側とで、想いが一致していれば良いかと思う。
- 委員 長：市民活動団体が無料で使える施設はどのような施設があるか。
- 事務局：利用者が負担をしないで利用できる主な施設は、現在は、市民活動サポートセンター、国際交流ラウンジ、女性プラザがある。また、これらを集約して、平成27年秋に開設予定の市民交流センター内に設置する市民活動プラザも、同様に利用者から使用料はいただかない場所となる。これは、市民活動を推進するという市の責務を果たすために無料とするものである。
- 委員：この他に学校開放もあると思う。
- 委員 長：学校開放は市民活動団体が事前に予約して使えるようになっているのか。
- 事務局：学校を使うということでは有料の仕組みだが、社会教育開放、スポーツ開放について免除するという規定はある。市民活動という視点ではなく、社会教育団体やスポーツ団体が登録して利用している。
- 委員：税金で運用していることについては、市外の方に関しても使っていただける場所であることから、念頭に置かなくても良いのではないか。
- 委員：神馬委員の言われたとおり、文面として読んだ時に本委員会として、無料の場所を提供いただきたいという言い方に違和感を覚えた。ここでは、特に活動を始めた団体にとっては、無料で使いやすい活動場所の提供が、その活動を軌道に乗せる上で有効な支援であるという所見を、本委員会として述べれば良いのではないか。文言の修正により発言を整える必要があると思う。
- 委員 長：それでは、複数の委員から指摘があったので、テーマ2の最後の文面は整える方向としたい。
それでは、次に「はじめに」と「おわりに」について、ご意見があればいただきたい。
直接内容には関係ないが、おだわら市民交流センターという名称が決まったのはいつか。
- 事務局：正式名称が決まったのは、市民交流センターの設置条例が制定された平成27年3月27日である。
- 委員 長：それでは、「はじめに」と「おわりに」についてはご意見が無いようなので、次に「資料編」に移りたい。ご意見等あればお願いします。
市民活動サポートセンター登録団体の分野別団体数は、過去の報告書にも掲載されていたと思うが、これはNPO法に基づいた分類になっている。そのような説明を明記しなくて良いか。また、分野別団体数には、一つの団体が複数の分野にカウントされているのか。
- 事務局：委員長の言われるとおり、NPO法に基づいた分野に分けて登録いただいている。登録の際に、主活動一つと、必要であれば副活動を追加で選択してもらうようになっているため、報告書の分野別団体数に重複のカウントはない。
- 委員 長：注記があった方が丁寧だと感じる。
- 事務局：表の欄外に注記を加えるという形でもよろしいか。
- 委員 長：ページのまたがりなど見やすさに配慮して追記いただきたい。
- 事務局：承知した。
- 委員 長：市民活動応援補助金応募・交付実績に「スタート」「ステップ」などの記載があるが、これだけ見ても分かりにくいように感じた。応募の手引きなどに、それぞれのコースの

説明が記載されていたと思うが、それを転記してはどうか。

事務局：市民活動応援補助金の種類や概ねの内容が分かるように記載する形で良いか。

委員長：分かりやすい形で入れていただければ良いと思う。

他に無いようなので、本日出た意見を踏まえて事務局に修正いただき、それを正副委員長が確認して最終版とする流れとしたい。

最後に、本報告書の提出方法について事務局からご説明いただきたい。

事務局：市長への報告書提出は、6月15日（月）16時30分から17時で実施させていただく。当日は、委員長から市長へ報告書の提出、委員長より報告書の概要説明、ご出席の各委員より一言ずついただき、その後、お時間まで懇談という流れとさせていただきたい。

委員長：何かご質問はあるか。報告会は庁議室で行われるのか。

事務局：報告会は市役所3階の庁議室で行う予定である。委員にはまず別の会議室にお集まりいただき、当日の流れを確認いただいた後、庁議室へご移動いただくこととなる。

■ 議題2 「市民提案型協働事業・市民活動応援補助金報告会について」

委員長：それでは次の議事に入る。議題2「市民提案型協働事業・市民活動応援補助金報告会について」、事務局より資料に基づいて説明をお願いしたい。

（事務局 資料に基づいて説明）

委員長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。昨年1団体が欠席されたと思うが、今年も欠席団体はあるか。

事務局：現段階ではすべての団体が出席できると聞いている。

委員長：流れは事務局案のとおり実施したい。評価コメント用紙は、報告会の当日に提出になるか、後日提出になるか。

事務局：昨年度は団体数が多かったことから、後日提出していただくことになった。今年度は市民提案型と応援補助金とで件数もあることから必要な方には報告会終了後、様式をデータでお送りするので、後日提出いただければと考えている。もちろん当日に手書きの物をご提出いただく形でも構わない。

委員長：本報告会は今期の最終日になるが、評価コメントを後日付すことは問題ないか。

事務局：団体には7月中にご送付したいと思っている。皆様の任期は6月末日までになっているが、ご容赦いただきたい。

委員長：それでは、任期は過ぎるが報告会終了後、速やかにまとめて団体へ送る流れとしたい。

■ その他

委員長：その他について事務局からお願いする。

（事務局 日程確認について）

委員長：今後の日程について確認させていただく。報告書の市長提出については、6月15日（月）16時30分からとさせていただく。また、第16回委員会は、6月30日（火）17時30分にご集合いただき、当日の流れの確認をし、18時から報告会を開始したい。

委員：先ほどの議題の話になるが、報告会には行政職員の方にもぜひ出席いただきたいと思っている。事務局では何か呼びかけを行うのか。

事務局：職員にお知らせをする機会があるので、できるだけ多くの職員が聞けるように積極的に情報提供していきたい。

委員長：発表する以外の団体や一般市民の方への周知もお願いする。例年出席者の統計は取っているのか。昨年の出席者の内容を教えていただきたい。

事務局：昨年は、市民活動団体が11団体27名、一般の方が4名、行政提案型協働事業の所管課を含めた市職員が8名の計39名の参加であった。一昨年よりは、やや少なくなった。

委員長：了解した。委員の皆様もお知り合いの方へお声掛けをお願いしたい。

本日予定されていた日程はすべて終了となったが、全体を通して委員の皆様から何かあるか。

それでは以上をもって第15回小田原市市民活動推進委員会を終了とする。